

## ◆ 今週のコメント (感染地域、感染経路については推定を含みます。)

- レジオネラ症の報告が2例(50歳代及び60歳代男性)(第41週追加報告分)ありました。本年の累積報告数は26例となりました。
- 急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く。)の報告が1例(10歳未満女性)ありました。症状は右上肢及び右下肢の弛緩性麻痺、深部腱反射低下、筋肉痛、髄液蛋白質増加、髄液細胞数増加、発熱、嘔吐、脊髄の画像異常所見です。本年5月1日に5類感染症の全数把握感染症に指定されてから累積報告数は3例となりました。
- クロイツフェルト・ヤコブ病の報告が1例(60歳代男性)(第41週追加報告分)ありました。症状は進行性認知症、ミオクローヌス、錐体外路症状、小脳症状、視覚異常、記憶障害、精神障害、知能障害で、感染地域及び感染経路は不明です。本年の累積報告数は4例となっています。
- 侵襲性肺炎球菌感染症の報告が3例(70歳代男性、50歳代及び80歳代女性)(第41週追加報告分含む)あり、本年の累積報告数は61例となりました。
- 梅毒の報告が2例(30歳代男性及び10歳代女性)(第41週追加報告分)ありました。感染経路はいずれも性的接触(異性間)です。本年の累積報告数は59例となりました。
- 百日咳の報告が3例(10歳未満男性、30歳代及び60歳代女性)(第41週追加報告分含む)ありました。いずれも症状は持続する咳等、感染経路は家族内感染です。本年の累積報告数は59例となりました。
- 風しん(検査診断例)の報告が1例(50歳代女性)あり、症状は発熱、結膜充血、発疹、リンパ節腫脹です。感染地域は国内で、感染経路は飛沫感染です。本年の累積報告数は6例となりました。

## ◆ 今週のトピックス:<梅毒>

京都市の平成30年における梅毒の累積報告数は第42週までで59例となり、過去5年間で最も報告数の多かった昨年同時期と同数になりました。詳細をトピックスに掲載しています。

## ◆ 発生状況

### 全数把握の感染症

- 二類:結核 14例(肺結核 6例, 肺外結核 3例, 潜在性結核感染者 5例)うち喀痰塗抹陽性 3例  
【1月以降の累積報告数 271例(肺結核 123例, その他結核 67例, 潜在性結核感染者 81例)うち喀痰塗抹陽性 66例】
- 四類:レジオネラ症 2例【1月以降の累積報告数 26例】
- 五類:急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く。) 1例【5月以降の累積報告数 3例】
- 五類:クロイツフェルト・ヤコブ病 1例【1月以降の累積報告数 4例】
- 五類:侵襲性肺炎球菌感染症 3例【1月以降の累積報告数 61例】
- 五類:梅毒 2例【1月以降の累積報告数 59例】
- 五類:百日咳 3例【1月以降の累積報告数 59例】
- 五類:風しん(検査診断例) 1例【1月以降の累積報告数 6例】

### 定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0.16	11
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	3.88	167
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.02	44
	③ 手足口病	0.98	42
	④ RSウイルス感染症	0.65	28
	⑤ ヘルパンギーナ	0.49	21
眼科	流行性角結膜炎	0.70	7

## 【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス:<梅毒>

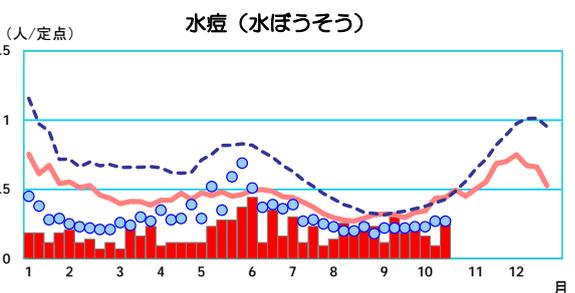
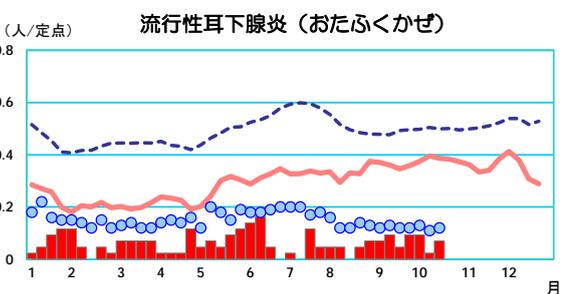
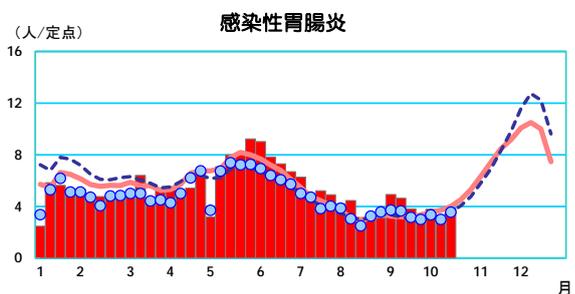
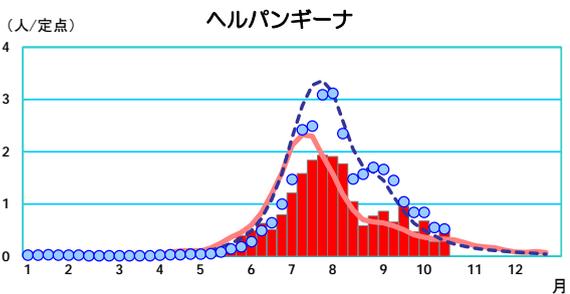
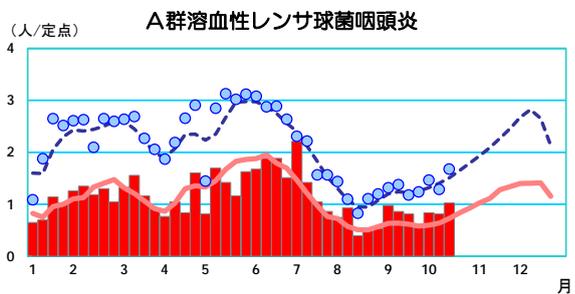
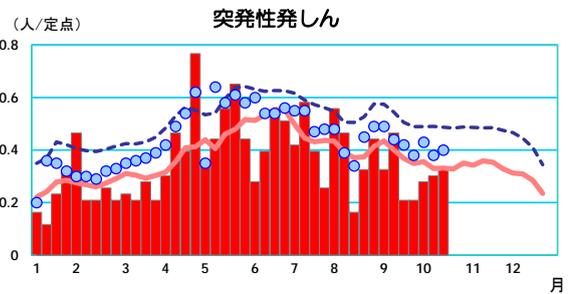
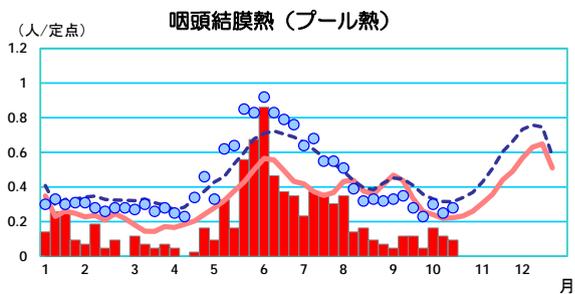
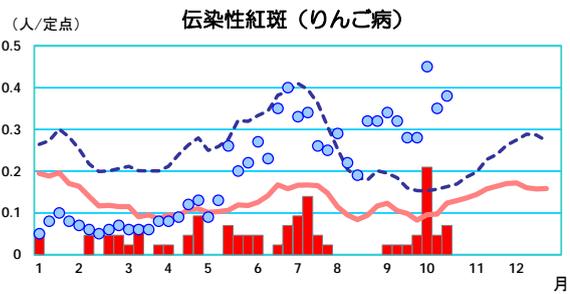
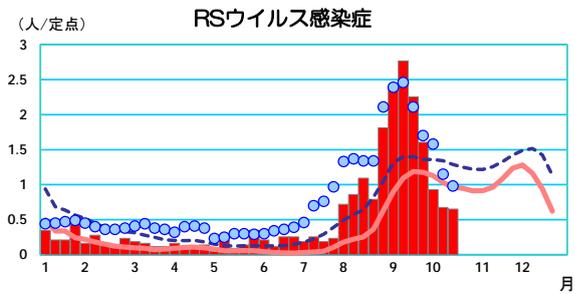
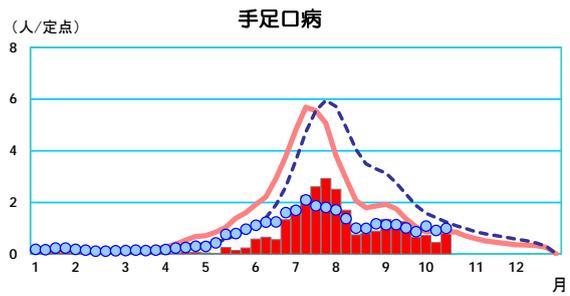
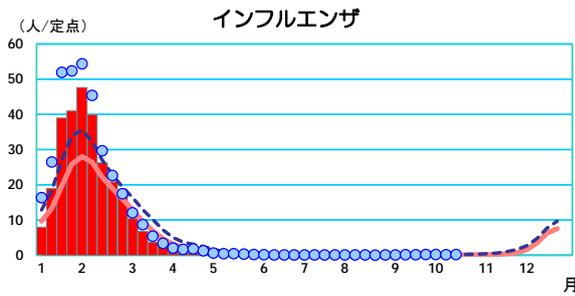
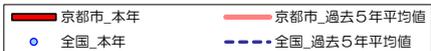
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注)京都市のデータは、平成30年10月24日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。

また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

\* 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

# インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成30年）



## 第42週(10月14日～10月20日)トピックス: <梅毒>

### ■京都市及び全国の発生動向

京都市の平成30年における梅毒の累積報告数は第42週までで59例となり、過去5年間で最も報告数の多かった昨年同時期と同数になりました(図1)。梅毒の報告数は年々増加の一途をたどっており、特に女性の増加が目立ち、調査開始以来初めて女性の報告数が男性報告数を上回りました(男性29例、女性30例)(図2)。全国でも同様に女性の割合が増加しており、本年第42週までの女性の報告数が昨年1年間の報告数に並びました。さらに過去5年間で今年の男女別の年齢階級別報告数の割合を比較してみると、男女とも同じような傾向で推移していますが、女性は男性に比べて10歳代、20歳代の報告の多さが顕著で、全体の60%を占めており(図3)、今後妊娠に伴う先天梅毒(\*)の増加が危惧されます。梅毒急増の背景には、海外との人の往来を含めて、不特定多数との性行為の増加が考えられています。

(\*)先天梅毒: 梅毒に感染している母体から、胎盤を通じて胎児に伝播される多臓器感染症。

### ■予防

感染部位と粘膜や皮膚が直接接触をしないように、コンドームを使用しましょう。オーラルセックス(性器と口の接触)などの接触でも感染がおこる可能性があります。皮膚や粘膜に異常があった場合は、早めに医療機関を受診しましょう。

京都市では、平日昼間、土日及び夜間にHIV・性感染症(梅毒・淋菌・クラミジア)検査を実施しています。詳細については、下記のホームページを御覧ください。

○京都市情報館「京都市のHIV検査について(平成29年度から検査体制を変更しました。)」

<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000047908.html>

図1 京都市の月別累積報告数(平成25年～平成30年第42週まで)

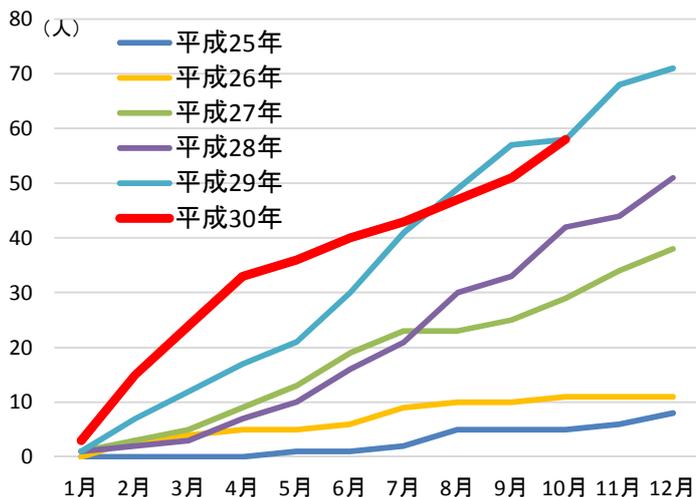


図2 京都市及び全国の報告数の推移(平成25年～30年第42週まで)

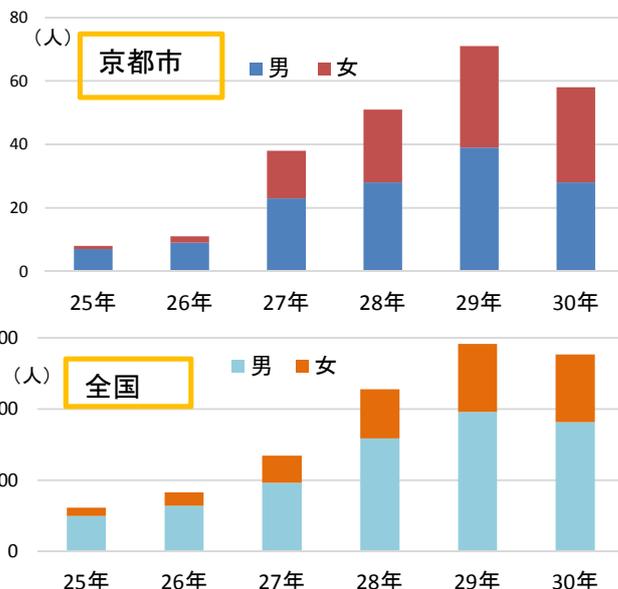
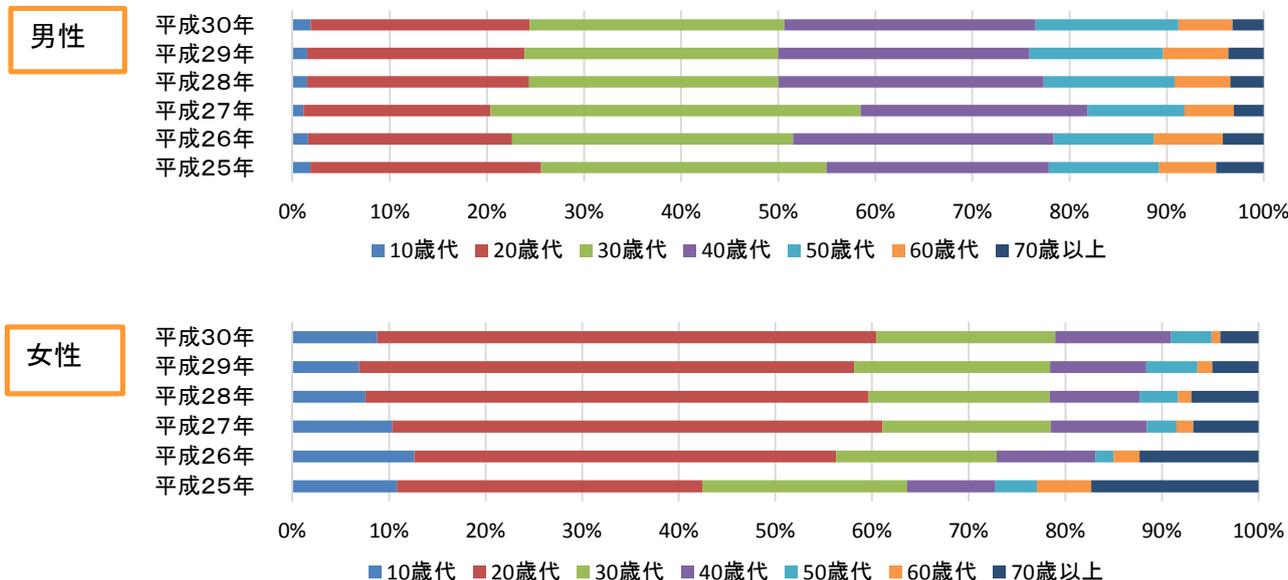


図3 全国の年齢階級別の報告数割合(平成25年～30年第42週まで)



T3201

## 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成30年第42週

疾病,行政区別報告数

平成30年10月15日～平成30年10月21日

データ入手日:平成30年10月24日

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (※3)	感染性胃腸炎 (※4)	
男女合計																			
北	2	2	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	3						
上京	2	-	1	3	3	1	2	-	1	2	-	-	1						
左京	-	10	-	8	68	-	15	-	1	6	-	-	-						
中京	-	1	1	2	1	1	-	-	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	3	-	-	9	-	2	-	-	-	-	-	-						
山科	1	3	-	1	1	1	1	1	3	3	-	-	2						
下京	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-						
南	-	-	1	2	14	-	6	-	1	3	1	-	-						
右京	1	4	1	13	15	3	2	-	2	4	1	-	1						
伏見	5	4	-	13	43	1	11	2	4	1	-	-	-						
西京	-	1	-	1	13	3	3	-	1	-	-	-	-						
京都市計	11	28	4	44	167	12	42	3	14	21	3	-	7	-	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (※3)	感染性胃腸炎 (※4)	
男女合計																			
北	0.29	0.50	-	0.25	-	-	-	-	0.25	-	-	-	3.00						
上京	0.40	-	0.33	1.00	1.00	0.33	0.67	-	0.33	0.67	-	-	1.00						
左京	-	2.50	-	2.00	17.00	-	3.75	-	0.25	1.50	-	-	-						
中京	-	0.33	0.33	0.67	0.33	0.33	-	-	-	0.67	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	1.50	-	-	4.50	-	1.00	-	-	-	-	-	-						
山科	0.14	0.60	-	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.60	0.60	-	-	2.00						
下京	-	-	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-						
南	-	-	0.33	0.67	4.67	-	2.00	-	0.33	1.00	0.33	-	-						
右京	0.13	0.80	0.20	2.60	3.00	0.60	0.40	-	0.40	0.80	0.20	-	1.00						
伏見	0.45	0.57	-	1.86	6.14	0.14	1.57	0.29	0.57	0.14	-	-	-						
西京	-	0.20	-	0.20	2.60	0.60	0.60	-	0.20	-	-	-	-						
京都市計	0.16	0.65	0.09	1.02	3.88	0.28	0.98	0.07	0.33	0.49	0.07	-	0.70	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

## 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成30年第42週

年齢階級, 疾病別報告数

平成30年10月15日～平成30年10月21日

データ入手日:平成30年10月24日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
男女合計	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上						
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	11	-	-	-	1	1	-	4	-	2	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢3	28	10	6	7	4	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		4	-	-	-	1	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		44	-	1	2	2	6	3	5	6	4	7	1	5	1	1	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎		167	1	20	24	17	16	8	9	10	8	12	7	9	8	18	-	-	-	-	-	
水痘		12	-	1	-	-	1	-	3	2	1	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	
手足口病		42	-	4	7	12	12	4	1	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
伝染性紅斑		3	-	-	-	-	-	-	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
突発性発しん		14	-	6	6	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ヘルパンギーナ		21	-	1	6	5	3	-	4	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	
流行性耳下腺炎		3	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎	7	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	1	-	3	1	-	-		
細菌性髄膜炎(※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
男女合計	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上						
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	0.16	-	-	-	0.01	0.01	-	0.06	-	0.03	0.01	-	0.01	-	0.01	-	-	-	-	-	
RSウイルス感染症	年齢3	0.65	0.23	0.14	0.16	0.09	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
咽頭結膜熱		0.09	-	-	-	0.02	-	0.05	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.02	-	0.02	0.05	0.05	0.14	0.07	0.12	0.14	0.09	0.16	0.02	0.12	0.02	0.02	-	-	-	-		
感染性胃腸炎		3.88	0.02	0.47	0.56	0.40	0.37	0.19	0.21	0.23	0.19	0.28	0.16	0.21	0.19	0.42	-	-	-	-		
水痘		0.28	-	0.02	-	-	0.02	-	0.07	0.05	0.02	0.05	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-		
手足口病		0.98	-	0.09	0.16	0.28	0.28	0.09	0.02	0.02	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-		
伝染性紅斑		0.07	-	-	-	-	-	-	0.05	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-		
突発性発しん		0.33	-	0.14	0.14	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
ヘルパンギーナ		0.49	-	0.02	0.14	0.12	0.07	-	0.09	-	-	-	-	-	0.02	0.02	-	-	-	-		
流行性耳下腺炎		0.07	-	-	-	-	-	0.02	-	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
流行性角結膜炎	0.70	-	-	-	-	-	-	-	0.10	-	-	0.10	-	-	-	0.10	-	0.30	0.10	-		
細菌性髄膜炎(※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

## 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成30年第42週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成30年10月24日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	11	11	4	3	2	11
RSウイルス感染症	119	97	69	40	29	28
咽頭結膜熱	5	5	2	7	5	4
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	37	35	24	36	35	44
感染性胃腸炎	199	164	143	163	126	167
水痘	13	8	10	7	4	12
手足口病	47	54	28	31	19	42
伝染性紅斑	1	1	2	9	2	3
突発性発しん	20	9	9	12	13	14
ヘルパンギーナ	28	41	20	29	12	21
流行性耳下腺炎	4	2	4	4	1	3
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	12	11	12	13	5	7
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合計	496	438	327	354	253	356

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	0.16	0.16	0.06	0.04	0.03	0.16
RSウイルス感染症	2.77	2.26	1.60	0.93	0.67	0.65
咽頭結膜熱	0.12	0.12	0.05	0.16	0.12	0.09
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.86	0.81	0.56	0.84	0.81	1.02
感染性胃腸炎	4.63	3.81	3.33	3.79	2.93	3.88
水痘	0.30	0.19	0.23	0.16	0.09	0.28
手足口病	1.09	1.26	0.65	0.72	0.44	0.98
伝染性紅斑	0.02	0.02	0.05	0.21	0.05	0.07
突発性発しん	0.47	0.21	0.21	0.28	0.30	0.33
ヘルパンギーナ	0.65	0.95	0.47	0.67	0.28	0.49
流行性耳下腺炎	0.09	0.05	0.09	0.09	0.02	0.07
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	1.20	1.10	1.20	1.30	0.50	0.70
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合計	12.36	10.93	8.49	9.20	6.25	8.72

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。